

親バカトマト通信

vol.17 2012年10月号

2012.10.12発行 編集:助川農園

がんばっぺ
いわき

現在の親バカトマト

10月になり、庭の金木犀の甘い香りも漂いはじめ、朝晩急に冷え込むようになってきました。

トマトの生育も順調で、受粉のため設置しているマルハナバチが、トマトの黄色い花から花へ、ハウスの中をブンブン飛び回っています。

「ぽよん」とした体型のマルハナバチは性格も穏やかで、近づいても刺されたりしないので、作業中もほとんど気にすることもなく、「お仕事ご苦労様!」と、一緒にトマトの世話をしている仲間のような気持ちになります。



それでも時々、休憩所に置いてある長靴や手袋の中に、なぜか入っていて、お昼休み後に足や手を入れた瞬間に刺されたこともあり、「なんでこんなところにいるの〜」と、びっくりさせられています。

ハウスで飼っているセイヨウマルハナバチは「外来種」なので、換気窓や入口にネットを張り、自然界に飛んでいってしまわないよう気をつけています。



SHOPニュース

成長の早いミニトマトが赤く色づいてきました。→

大玉トマトの方は、早いものでは今月末には色づき始め、11月始め頃から収穫が出来そうです。

親バカトマト助川農園オンラインショップ

http://shop.suketoma.com/ も

11月中旬頃再開する予定です。もうしばらくお待ちください!



農園こぼれ話



10月2日～5日にかけて家族総出で稲刈りをしました。

今年は天候が良かったおかげで豊作でした。

収穫した米は例年すぐ農協に供出するのですが、「放射能の全袋検査」のため、期日が指定されていて、10月下旬まで米の倉庫で保管するそうです。



〒974-8232 福島県いわき市錦町荒谷72
農園Tel.090-7334-4551 自宅Tel・FAX 0246-63-5315
URL http://suketoma.com mail shop@suketoma.com

携帯サイトです→

